

2026年3月3日

各位

JX金属株式会社

半導体用スパッタリングターゲットの鉄道輸送トライアルにつきまして

JX金属株式会社（林 陽一、以下「当社」）は、本年1月、茨城県の磯原工場で生産した半導体用スパッタリングターゲットの九州方面への輸送について、貨物鉄道を活用したトライアル輸送を実施したことをお知らせします。当トライアルでは、日立駅（茨城県）から九州に所在する貨物ターミナル駅までの区間で鉄道輸送を行いました。

当社は、温室効果ガス（GHG）排出削減を推進しており、そのうち物流に起因するScope3排出量の削減および持続可能な物流体制の構築に向け、貨物鉄道を活用した鉄道モーダルシフトを積極的に推進しています。トライアルで確認されたメリットを踏まえ、2026年3月より本輸送における貨物鉄道の本格利用を開始する予定です。これまで活用してきたトラックによる路線便と併用し、一部を鉄道輸送に切り替えることで、GHG排出量の削減を図るとともに、ドライバー不足への対応を進めていきます。

当社は、2040年長期ビジョンにおけるマテリアリティの一つに「地球環境保全への貢献」を掲げ、Scope1・Scope2の削減を推進するとともに、Scope3を含むサプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に向けた取り組みを行っています。今後も、物流分野を含む事業活動全体での環境負荷低減に取り組み、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上



鉄道輸送の様子